

# 目 次

訳者前書き	iii
著者前書き	v
<b>第 I 部 確率論の基本</b> _____	<b>1</b>
第 1 章 いろいろな収束	3
第 2 章 定理 1 の部分的な逆	9
第 3 章 法則収束	16
第 4 章 大数の法則	24
第 5 章 中心極限定理	33
<b>第 II 部 統計的大標本論の基礎</b> _____	<b>45</b>
第 6 章 スラツキーの定理	47
第 7 章 標本積率の関数	53
第 8 章 標本相関係数	60
第 9 章 ピアソンの $\chi^2$	65
第 10 章 ピアソンの $\chi^2$ 検定の漸近検出力	71

<b>第 III 部 特殊な話題</b>	<b>77</b>
第 11 章 定常 $m$ -従属列	79
第 12 章 順位統計量	86
第 13 章 標本分位点の漸近分布	99
第 14 章 極値順序統計量の漸近理論	106
第 15 章 極値の漸近的結合分布	114
<b>第 IV 部 推定・検定の有効性</b>	<b>119</b>
第 16 章 大数の一様強法則	121
第 17 章 最尤推定量の強一致性	126
第 18 章 最尤推定量の漸近正規性	133
第 19 章 クラメール・ラオの下界	141
第 20 章 漸近有効性	150
第 21 章 事後分布の漸近正規性	158
第 22 章 尤度比検定統計量の漸近分布	163
第 23 章 最小 $\chi^2$ 推定量	170
第 24 章 一般 $\chi^2$ 検定	185
演習問題解答	195
引用文献	275
索引	279